

平成 28 年度 横浜精神分析研究会(文献講読と症例検討)のご案内

皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

研究会では精神分析に関する文献講読と症例検討を開催いたします。これまでの文献講読ではクライン、ウィニコット、初期フロイトを取り上げました。今年度は引き続き S.フロイトを取り上げます。精神分析は S.フロイトによってヒステリーの治療法として見出されました。現代の精神分析は S.フロイトの頃のそれとは大きく変遷してきていますが、今に至ってもなお S.フロイトに戻りつつ、S.フロイトを参照し続けています。S.フロイトは膨大な著作を残しました。そのため、S.フロイトの著作を前期・中期・後期に分け、3年かけて網羅していく予定です。今回はその中期の著作 12 本を取り上げます。中期は技法論文が多いのが特徴です。発表者がそれぞれの論文を要約した上で、疑問や批判を提出してもらいます。その上で講師が講義を行い、それを元に参加者全員で議論していきます。長い著作については 2~3 人で分担して担当します。

症例検討会については、精神分析の症例には特に限りません。一般的な普通のカウンセリングを行っている症例発表で構いません。ただ、可能なら頻度や時間、方法などがある程度構造化された症例にしてもらえたらと思います。発表の方法は、最終 2 セッションの逐語記録やプロセスノートを持ってくるだけです。症例の概要やこれまでの経過をまとめてくる必要はありません。これによって発表者の負担が減ると同時に、実際のやり取りを細かく検討することができます。

文献講読と症例検討は、どちらかだけの参加でも構いません。ただ、実際の臨床では両方が密接に絡み合っているため、両方参加することで、より理解が深まると思います。あと、詳細は未定ですが、10月2日に特別セミナーを開催予定です。研究会参加者は無料で参加できます。

●スケジュールと取り上げる論文

日時	文献講読	症例検討
平成 28 年 4 月 10 日	イントロダクション、発表の割り振り 転移の力動 (1912)	発表の割り振り 症例発表 1
5 月 8 日	精神分析を实践する医師への勧め (1912)	症例発表 2
6 月 12 日	トーテムとタブー (1913)	症例発表 3
7 月 10 日	治療の開始について (1913)	症例発表 4
8 月 7 日	ナルシシズムの導入にむけて (1914)	症例発表 5
9 月 11 日	想起すること、反復すること、ワークスルーすること (1914)	症例発表 6
10 月 2 日	【特別セミナー】対象関係論にもとづく心理療法の進め方 (仮題)	
10 月 9 日	転移性恋愛についての観察 (1915)	症例発表 7
11 月 13 日	欲動と欲動運命 (1915)	症例発表 8
12 月 11 日	喪とメランコリー (1917)	症例発表 9
平成 29 年 1 月 8 日	ある幼児期神経症の病歴より (1918)	症例発表 10
2 月 12 日	精神分析療法の道 (1919)	症例発表 11
3 月 12 日	不気味なもの (1919)	症例発表 12

(裏面に続く)

●日時

毎月 第 2 日曜日（8 月は第 1 日曜日、10 月は第 1 と 2 日曜日）

文献講読会：13 時 00 分～14 時 55 分、症例検討会：15 時 00 分～17 時 00 分

●会場

(1)菊名地区センター

〒222-0011 横浜市港北区菊名 6-18-10（東急東横線 JR 横浜線 菊名駅から徒歩 10 分）

(2)菊名コミュニティハウス

〒222-0011 横浜市港北区菊名 4-4-1（東急東横線 JR 横浜線 菊名駅から徒歩 5 分）

（会場は上記 2 ヶ所の他、菊名駅周辺の会場となります。また月によって会場は変わります。）

●参加資格

臨床心理士や医師などの守秘義務をもつ専門家、臨床心理系大学院生など

●臨床心理士のポイント

日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士更新のためのポイントを申請する予定です。

●費用（支払い後の返金は応じかねますのでご了承ください。）

(1)通年での参加 一般 22000 円（講読会か検討会のどちらかだけ 16000 円）

院生（修士） 18000 円（講読会か検討会のどちらかだけ 12000 円）

(2)単発での参加 一般 3000 円（講読会か検討会のどちらかだけ 2300 円）

院生（修士） 2400 円（講読会か検討会のどちらかだけ 1800 円）

●申し込み方法

(1)名前 (2)所属 (3)メールアドレス (4)講読会と検討会のいずれの参加か (5)通年参加か単発参加か (6)臨床心理士資格の有無、の 6 点を明記して、下記の問い合わせにあるメールアドレスまでご連絡ください。銀行口座をお知らせしますので、振込をしてください。振込を確認できた時点で申し込み確定となります。

●問い合わせ・申し込み先

横浜精神分析研究会事務局 info@yokopsy.com （ <http://yokopsy.com> ）

北川清一郎（所属：心理オフィス K、臨床心理士、日本精神分析学会認定心理療法士）

●力動的グループスーパーヴィジョンの案内

文献講読と症例検討と同じ日時で、毎月 1 回、第 2 日曜日の午前中にグループスーパーヴィジョンも行っています。詳しくは <http://yokopsy.com/index.php/groupsy> をご覧ください。

●アドバイザー

岡達治 先生（岡クリニック院長、日本精神分析学会認定精神療法医・認定スーパーヴァイザー）

●後援

心理オフィス K （ <http://s-office-k.com> ）